

第4回江東区都市計画マスタープラン 2022 推進会議【会議録】

開催日時	令和5年2月 17日(火)午後1時00分		
開催場所	オンライン開催(Zoom)		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 村木 美貴、市古 太郎、川内 美彦、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、都市計画課長、沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
(仮称)枝川駅周辺の地区まちづくりについて		沿線まちづくり担当	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料3	まちづくりの検討において、こどもの自由な発想を取り入れることが大切であるが、具現化に向けプロの精査を加える必要がある。世田谷区の住民参加のまちづくりを参考にすること。	沿線まちづくり構想においては、こどもの自由な発想を取り入れるべく、小学校への出前講座を実施し、「未来のまち」をテーマとした絵画等を学習の成果として作成していただいた。 (仮称)枝川駅周辺のまちづくりにおいても、ご意見を参考にさせていただく。
2	資料3	歩行空間を充実させるためには、現在の街路状況を踏まえたうえで民地所有者の協力が必要となるため、まずはポケットパークなど部分的な整備から取組み、歩道拡幅は長いスパンで検討していくことが必要となる。 物流関連車両の走行ルートと住民の生活ルートを棲み分けるための規制等が必要と考えるが、国レベルの協力が必要かもしれない。	(仮称)枝川駅周辺は道路空間が広い箇所が多く、歩道幅員もおおむね3メートル取れている。車道も片側2車線あるが、日中混雑するほどの交通量はないため、車道側への歩道拡幅という考え方もあるものと認識している。 ただし、大型車両の交通量が多い地域でもあるため、ご意見のとおり、物流動線と生活動線のバランスを考慮することも大切と考えている。
3	資料3	自動運転技術も大切だが、アクセス交通としてグリーンスローモビリティやマイクロモビリティの活用を検討が現実的だと思う。	各駅周辺のまちづくりを進めていく際の参考にさせていただく。
4	資料3	まちづくり協議会の会員に小学校の先生を加える予定というのは良いアイデアだと	沿線まちづくり構想においては、こどもの自由な発

		思う。何らかの方法で、子どもたちも取り込むと良いと思う。	想を取り入るべく、小学校への出前講座を実施し、「未来のまち」をテーマとした絵画等を学習の成果として作成してもらった。 (仮称)枝川駅周辺のまちづくりにおいても、ご意見を参考にさせていただく。
5	資料3	事業者の選定について、地域の考えに寄り添うことができる地域密着型の企業が参加できるような仕様にするのが望ましいと考える。	一定の参加資格は設けており、すべての企業が参加できるわけではない。ただし、地域に密着した協議会運営ができるよう、議論の活性化や共通理解に資する提案をすることを仕様書に示しており、事業者選定における評価ポイントのひとつとしている。
6	資料3	各地域において、学生(大学の研究室)との連携によりまちづくりが活性化している事例がある。そのため、枝川のまちづくりにおいても検討してほしい。	学生との連携について、選定事業者とともにその方法について検討する。
7	資料3	協議会の構成について、まちづくりに関心が高い企業に参画してもらうことで、まちづくり方針策定以降の継続的な協議会運営が期待できると思う。	各駅周辺のまちづくりを進めていく際の参考にさせていただく。
8	資料3	地区まちづくり方針策定後の協議会のあり方を見据えて、協議会運営を行うことが重要である。	協議会については、方針策定後も地域を主体として存続していくことが理想と考えており、エリアまちづくりや運河ルネサンス立ち上げ等の可能性も視野に入れて検討していく。方針については、今後、開発が行われることになった場合など、地域の意向に沿ったまちづくりへ導くための指針となることを想定している。
9	資料3	今後、協議会の意向をとりまとめた段階で意見を述べる機会をいただきたい。	協議会の設立及び協議会の意向が整った段階での意見照会や報告を想定している。
10	資料3	協議会の構成について、テーマ型の組織に参画してもらうことで、議論の活性化が期待できると思う。	各駅周辺のまちづくりを進めていく際の参考にさせていただく。

11	資料3	<p>舟運の活性化については、オープンスペース同様に防災の観点である強靱化を含めることで実現性を高めることができると考えている。</p> <p>地元企業等との協働や都有地の利活用等の視点を含めて検討していくと良いと思う。</p>	<p>将来的には、地域を主体とする運河ルネサンスの立ち上げも可能性のひとつとして視野に入れており、水面利用の規制緩和につながるものと考えている。</p>
12	資料3	<p>枝川に防災船着場を新設する予定があれば、水辺のにぎわいに活用できると考える。</p>	<p>現時点では防災船着場の新設予定は無い。枝川周辺の散歩道では、一部水面に近い高さで整備がされている部分がある。活用の可否も含め、できることを模索していく。</p>